

# 戦争法前提の自衛隊文書

**首相も暴走是認  
憲法をないがしろ  
参院安保持  
小池議員が批判  
「軍」表現も当然  
視**

日本共産党の小池晃議員は21日の参院安保法制特別委員会で、戦争法案の成立を前提に、自衛隊統合幕僚監部が詳細な部隊運用計画を記載した内部文書を作成していた問題について、安倍晋三首相を直接ただしました。

△ △ △  
首相は「(法案を) 具体化していくべき検討課題を整理すべく分析や研究を行うのは当然だ」。「問題あるとは全く考えていない」と強弁しました。

小池氏は「一省庁の問題ではなく自衛隊という実力組織だ。軍隊を独走させてはいけないというのは戦前の教訓だ」と反論。「内容は国会で全く説明していないものばかりだ。国民と国会を愚弄(ぐるう)するものだ」と批判しました。

また首相は「防衛大臣の指示のもと、その範囲内で行われたものだ」と述べ、文民統制は完遂していると発言。小池氏は、中谷元・防衛相が5月に作成された文書の内容を8月まで把握していなかった事実をあげ、「(自衛隊の) 暴走以外の何物でもない」と強調しました。同文書は、新ガイドラインで新

たに設けるとした「同盟調整メカニズム」内に、軍軍間の調整所の設置を記しています。首相は「便宜的な表現であり、問題あるとは思っていない」と答え、自衛隊を「軍」と記すことを当然視しました。小池氏は「軍を持たないという憲法を持つ国の首相が、『軍』と書くことを、便宜的な問題でかまわない(いうことが)許されるのか」と指摘。首相が3月にも自衛隊を「我が軍」と発言したことにふれ、「(首相は) 憲法をないがしろにし、自衛隊の中でも憲法も国民も無視した議論が行われていることを示すことに他ならない」と批判しました。

小池氏はさらに内部文書は、米軍等の「武器等防護」に関し、自衛隊の武器使用基準である「ROEの策定」と記述していることについて、「米軍と武器使用基準を共有することになる」と言及。「統幕内部文書から見えるのは、まさに自衛隊を米軍と肩を並べて海外で戦争する集団に変えようとするものだ」と強調しました。このような文書を「問題ない」とする安倍首相と中谷防衛相。小池氏は「責任は極めて重大だ」と強調するとともに、自衛隊統合幕僚長の河野克俊氏の証人喚問を要求。改めて戦争法案の廃案を主張しました。

2015年8月22日(土)

## 安倍談話 海外メディア 厳しく批判

### 韓国

【ソウル＝栗原千鶴】朝鮮日報15日付の社説は、安倍首相談話が村山談話にある「侵略」「植民地支配」「反省」「おわび」という言葉を引用しているものの、「他人の口を借りて反省・謝罪している印象を与えている」と批判しました。

東亜日報の同日付社説も、「(安倍首相の) 歴史認識に失望とともに、怒りを感じる」と非難。ソウル新聞の同日付社説は、「慰安婦」被害者に対する真剣な謝罪を求め、「真心に欠けた態度では、パートナーとして一緒に歩むことはできない」と主張しました。

### 中国

【ハルビン(中国黒竜江省)＝小林拓也】15日付の中国共産党機関紙・人民日報は論評を掲載し、「文脈や誠意では『村山談話』との違いが甚だしい」と非難しました。

国営新華社通信の論評は、村山談話の「おわび」の主体は「日本政府と全国民を

**第17回**  
**奈良赤旗まつり**  
日 11月7日(土)  
時 午前10時～  
会場 奈良10年会館  
大ホールと時の広場  
主催 共産党奈良県委員会

代表する首相だった」として、安倍談話のおわびは間接的だと指摘。「そうしたやり方で世間を欺くことはできない」と批判しました。

### シンガポール

【ジャカルタ＝井上歩】シンガポールの英字紙ストレーツ・タイムズ(電子版)は15日、談話は安倍首相の歴史認識に対する批判と、右派的基盤の間の「微妙な線上を歩くために、入念に仕上げられたように見える」と報じ、談話は「韓国と中国の人々から適切とみなされそうにない」と指摘しました。

### 米国

【ワシントン＝島田峰隆】米紙ウォール・ストリート・ジャーナル(電子版)は14日、「安倍首相は第2次世界大戦中の日本の行為について自らの言葉で謝罪するには至らなかった」と伝え、「戦争に関しては日本がどう責任を負うべきだと安倍氏が感じているのか、あいまいなままだった」と指摘しました。

ニューヨーク・タイムズ紙(電子版)は同日、「安倍首相は過去の第2次大戦の謝罪を繰り返したが、何も付け加えず」と題して報道。ワシントン・ポスト紙(電子版)も同日、「日本の指導者は第2次大戦の謝罪に至らず」と伝えました。

### 豪州

オーストラリア・エイジ15日付は「将来の世代が謝罪を続ける必要性によって重い責任を負わせられないようにする」として、新たな謝罪を公表しなかった」と報道。安倍談話の言葉遣いは中国や韓国で重大な外交上の課題となると認識されていると指摘しました。

### ドイツ

フランクフルター・アルゲマイネ紙は15日、「不信は残った」との見出しで論評し、「安倍氏は侵略については歴史家の議論に任せるとして明確な謝罪を避けた」と批判。南ドイツ新聞は、首相が直接の謝罪を避けた狙いは「歴史に対する自らの評価を変えない」ことだと指摘しました。

2015, 08, 25 NO. 724

# 日本共産党

## 磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp  
川西町結崎 8 6 2 - 7 0745-43-2415  
吉田 容工 Eメール katunori\_yosida@ybb.ne.jp  
田原本町大木 1 1 3 - 5 090-5257-4446  
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp  
田原本町鍵 2 8 1 - 1 0744-33-8570  
池田 としお Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp  
三宅町屏風 4 4 0 - 5 0745-43-2661

2015年8月16日(日)

日本共産党発行  
**赤旗**  
日刊 3497円  
月刊 823円

## 「バカがする」と!

今年には戦後70年の節目であり、又国会で「安保法案」が審議されてるとあって、マスコミは戦争に関する報道が多くあったように思います。

先日、私は深夜、MHKで「おんなたちの太平洋戦争」を観ましたが、今迄観た戦争体験の話の中では一番ひどく、惨たらしくて衝撃を受けました。太平洋戦争がおこり、若い看護婦たちは軍隊の徴兵と同様、一枚の赤紙で出征させられ、ビルマ、フィリッピンなど海外の戦地で働かされました。野戦病院、兵站病院などでの看護、治療、そして死体の処理などの話は、戦後産まれたの私たちには果してその何分に一位、理解出来るでしょうか。

人間が人でなくなってしまう、「自分が一番大切。どうしても生きて日本に帰りたいかった!」青春を戦争に奪われた80代から90過ぎの女性が涙ながらに語るさまは、まさに地獄絵です。

今、国会では共産党の小池晃議員が、自衛隊の部隊運用計画を記載した内部文章を暴露し、大問題になっていきます。また、日本国中で戦争法案に反対する集会やパレードが凄いい勢いで広がっています。「(戦争は)バカがすること!」と言い切つたあの老婆の言葉が、私の脳裏に焼き付いています。

田原本町  
議会議員  
森良子



## 再稼働反対!

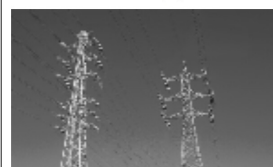
連日の猛暑日が続いてきた頃の事を思えば、お盆からこっちは、幾分過ぎ易くなつたようですが、如何でしょうか? まだ、しばらくは暑い日も有るでしょうが、確実に秋は近付いていきますから、もう少しの辛抱で到来する過ぎ易い季節が楽しみですね。

さて、この八月、原発の運転が再開されてしまいました。これは、今を生きる人類の後世に對する最大の汚点ではないでしょうか。共存出来ない事が百も承知で有つても、エネルギー政策を切り替える決断が、出来ないと、今日、明日、後世に第一です。ここには、原発の利益共同体の皆さんの利益の為に、他を顧みない様子が、はつきり表れましたね。

きりと表れましたね。政府を始め関係の皆さんは大歓迎の様ですが、果たして、手を上げて日本社会が歓迎してもええのかどうかは、少なくとも皆さんが疑問を投げかけては、る事でしょう。

何せ、運転すると必ず生み出される使用済み核燃料の処理方法は、未確立です。既に蓄積されているその処理不能の使用済み核燃料が、一万七千トンも有つて、この行き先も、定まっています。成すべきは、処理不能で、かつ、危険極まりない代物を生み出すだけの電源とは、色々有つてもきつぱりと縁を切るしか道は有りません。

川西町議会議員  
芝和也



## 意見書

23日、伴堂2丁目の集会がありました。終わった後ある住民から、6月議会に提出し賛成多数で可決された「安部内閣の安全保障法案の慎重審議を求める意見書」について「地方議会からあのような意見を上げることは非常いいことだ。頑張つて下さい」と激励をいただきました。安部内閣が進めている戦争法案に住民からも意見を言えたら言いたいということではないでしょうか。

「核廃絶を求める意見書」は、7月に「平和行進実行委員会」、「戦争をさせないなら1000人委員会」から要望書が議会に提出されていたもの。「ウイルス性肝炎患者に對する医療費助成の拡充を求める意見書」については、肝炎患者会などから6月議会にも提出されていましたが、再度要望が4月の議員選挙で新人議員が6名も誕生し、議会の在り様も今までの議会と様変わりしています。さらに住民要求を議会に届けるために頑張つてまいります。

三宅町議会議員  
池田年夫



## 平和パネル展

八月十五日から二十一日の間、図書館で平和パネル展が行われていました。テーマは「大阪大空襲の体験画」です。

「リアカーで運ばれる焼死体」「安治川へ飛び込む人たち」「防空壕の中で真っ黒になつていた人々 幼児とお年寄りの姿が目には焼き付いた」「行方不明になつた娘を探し、はめていた指輪から娘の焼死体を発見した母親」など戦争の悲惨な実態が伝わってきました。

先日、中央体育館前で車を止めていると、沢山の高校生から「頑張つてください!」「応援してます!」と声がかかりました。車に貼つ

た「安倍政治を許さない」ポスターの効果大です。お盆以降「戦争法」の実態が明らかに、なり反対の声が広がってきていることの証です。アメリカ軍と自衛隊が日常的に行動を共にするためには必要な法律改正、それが戦争法であること。すでに、砂漠でモスク等イスラム風の町をつくり市街地戦の訓練に、ヘリコプターの船舶臨検訓練に自衛隊員が参加していることも判明しています。

国民に本当のことを語らず、戦争へ国を導こうとする安倍政治を許さない。

田原本町議会議員  
吉田容工

